



2023年6月2日

各位

会社名 株式会社 ヤガミ
代表者名 代表取締役社長 小林 啓介
(コード：7488、名証メイン市場)
問合せ先 取締役経営管理部長 佐貫 匡
(TEL. 052-951-9252)

2023年4月期 通期業績予想と実績との差異 および配当予想の修正に関するお知らせ

2023年4月6日に公表いたしました2023年4月期の通期連結業績予想と、本日公表の実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。また、2023年4月期の配当予想を修正いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 業績予想と実績との差異

2023年4月期通期連結業績予想と実績との差異（2022年4月21日～2023年4月20日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	10,790	1,740	1,770	1,120	213.52
実績値(B)	10,889	1,831	1,855	1,177	224.47
増減額(B-A)	99	91	85	57	
増減率(%)	0.9	5.3	4.8	5.1	
(ご参考)前期実績 (2022年4月期)	11,092	1,851	1,876	1,285	245.10

(差異の理由)

当連結会計年度は、新型コロナウイルス感染症対策需要はピークを超えたものの、文教分野では一定規模の予算措置が続いたほか、半導体業界を中心としたエレクトロニクス関連産業は、社会のデジタル化を背景に引き続き堅調に推移しました。一方で、資源価格の高騰や円安に伴う物価上昇により、激しい価格競争に晒される経営環境が続きました。

このような状況のもと、当社グループでは、保健室向け感染症対策商品の拡販やAEDの新規及び買い替え需要の取り込みを進めたほか、東アジアを中心とした国外市場に対し、滅菌器や環境試験装置の受注獲得に努めてまいりました。

この結果、当連結会計年度の売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は当初予想を上回りました。

2. 配当予想の修正

2023年4月期 配当予想の修正

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計
前回発表予想 (2023年4月6日発表)	円 銭 —	円 銭 0 00	円 銭 —	円 銭 149 00	円 銭 149 00
今回修正予想				157 00	157 00
当期実績	—	0 00	—		
前期(2022年4月期)実績	—	0 00	—	123 00	123 00

(修正の理由)

当社は、株主に対する利益還元を経営における重要施策の一つと考えております。その為、持続的な成長や事業リスクへの備えに必要な財務の健全性ととのバランスも考慮し、配当は、親会社株主に帰属する当期純利益に対する比率(連結配当性向)50%を目処に実施することを基本方針としております。

直近の配当予想では、上記方針並びに前回業績予想に基づき、1株につき149円としておりましたが、今回の業績修正予想並びに財務状況等を総合的に勘案の結果、2023年4月期の配当につきましては、連結配当性向が69.9%となる1株につき157円に修正いたします。株主の皆様への還元につきましては、引き続き検討を続けてまいります。

(注)上記の予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上